

千歳セントラルロータリークラブ

ROTARY INTERNATIONAL District 2510

CHITOSE CENTRAL ROTARY CLUB



発行 千歳セントラルロータリークラブ

会長 坂井 治 / 副会長 彦坂忠人 / 幹事 佐々木俊哉 / 会報編集責任者 武田伸也

〒066-8520 北海道千歳市本町 4 丁目 ホテル日航千歳内 TEL・FAX.0123-26-5788 オフィシャルホームページ <http://www.ccrcc.jp> E-mail.office@ccrc.jp

会長あいさつ

会長 坂井 治

皆さん、こんにちは。

先週から東日本・関東大震災の話題が続きます。

現地に親戚や知人がいる人のお話ですと、自分は道路一本で助かったが家の直前まで津波が来て、津波が引いた後に無数の遺体が残されていたそうです。

自衛隊などが全部回収していったはずなのに、ここ数日異臭がしているそうです。まだガレキの下に残っているのではないかと、不安な日を送っているそうです。

テレビニュースなどでは報じませんしもちろん映像は撮っているでしょうが、放映されることはないのだと思います。

改めてご冥福をお祈りしたいと思います。

現地のニュースのみならず東京や横浜などのニュースも時折入ってきますが、そこで困っているものの一つとして携帯電話の充電切れでした。

地震当日は、ほとんど回線がパンク状態で通じないとわかっていてもどうしても連絡を取りたくて何度もかけてしまうと思います。ようやく通じるようになった頃には、すでに充電が切れて使えないことになってしまいます。

私は予備充電器を持っていますが、万一災害に合ったときに 3 日間くらいは電気の無い生活を強いられることもあるでしょう。それくらいの備えが必要かもしれません。

先週からクラブで募金をしていますが、たとえば私たちが街頭に出て募金活動をするとか何かのチャリティーイベントを考えた方がいいのではないかと考えています。

担当の委員会の皆さんには、是非ご検討頂きたいと思いません。

幹事報告

幹事報告 佐々木 俊哉

- 地区ガバナー事務所より、東北関東大震災・災害義援金のお願いが届いています。
- 本日の例会後に緊急理事会を開催します。
内容は、東北関東大震災に関する今後のクラブの活動についてと 4 月第 1 例会内容変更についてです。
- 田口国際奉仕委員長からの報告ですが、国際ロータリ

例会出席状況 (2011 年 3 月 22 日)

会員数	34 名
会員出席者数	21 名
欠席者数 (内: 無断欠席)	13 (5) 名
出席率 (前回例会)	61.76 (67.64) %
ゲスト・ビジター出席者数	0 名
出席者数総計	21 名

ー第 3340 地区タイ・ノンカイロータリークラブより東北関東大震災へのお見舞いのメールが届いています。

ニコニコ BOX

ニコニコ箱委員会 委員長 羽芝 涼一

井上英幸会員：息子の結婚式が無事に終わりました。ありがとうございました。

入口博美会員：先日の息子の葬儀の際には、皆さんにお世話になりました。

佐々木俊哉会員：しばらく欠席しておりました。須藤副幹事には大変お世話になりました。

本日のプログラム

「会員増強」

担当 会員増強・維持委員会 委員長 高塚 信和

みなさん、こんにちは。

先月 22 日に引き続いて、会員増強についての 2 回目ということになります。

今日は 4 つのテーブルで 2 月 22 日の例会日から 1 ヶ月間で、みなさんがどのような活動をしたか、それぞれミーティングしていただきたいと思います。突然の震災などで大変なところもあると思います。私は高血圧で千歳インター消化器・内科にかかっています。この木田院長に診てもらったのですが、若い方ですが 10 名もスタッフを使って、レントゲンの技師もやっておられます。午前の診療は 12 時におわるので、火曜日に時間をあけて例会に出席してくれないかとお願いしました。また、先週 20 日に井上会員のご子息が結婚さ

れましたが、その際、隣の席に座られたのがむらみ経営グループ千歳営業所所長の税理士の橋本さんという方でした。私は隣に座った方とは名刺交換をして、ロータークラブへ勧誘をします。井上会員にも経営をみてもらっているのだから、勧誘をしたほうがいいと話しました。機会あるごとにお近づきになればチャンスはあると思います。仲間を増やすということは必要なことです。現在、千歳ロータークラブも千歳ライオンズクラブも会員が減少しています。高齢の方が退会されているということもあります。そのような状況ですから、仲間づくりをしていかないと JC の言葉ではありませんが、そして一人、クラブがなくなった、ということにもなりかねません。では、柏田会員、田口会員、彦坂会員、井上会員を長として各テーブルでミーティングを行ってください。

では、みなさんに発表していただきたいと思います。

井上会員：私たちのテーブルには入会したばかりの古木会員がいましたので、様々な意見を出していただきました。まず、ロータークラブが何をしているのかわからないといった PR 不足もあるのではと思いました。最終的には知り合いに声をかけて勧誘していくしか方法はないのではということでした。それから JC のみなさんにもう少しはたらきかけてはどうかという意見も出ました。クラブの活動にはお金もかかりますのでそれぞれ個人差があります。いろいろな尺度・立場で入会されている方がいらっしゃいますので、そういった方々の退会防止を含めて考えていく必要があるだろうということでした。

彦坂会員：報告いたします。勧誘については、羽生会員、入口会員、佐々木俊英会員と株式会社デンソーエレクトロニクス代表取締役の杉本さんとお話させていただきました。インターナショナルな企業の子会社の社長なんですが、ロータークラブは聞いてはいるけれど、どうしているかわからないと言っていました。資料などをお渡しして検討してほしいということをお願いしてきました。ローターの友 3 月号の中にも次年度の国際ローター会長カルヤン・バネルジー氏が会員増強が非常に大事だと述べています。特にローターというものを十分に分かってもらっていないのではないかと、従ってもう少しローターの活動を多くの皆さんに知ってもらう機会を作っていく必要があるということです。そして、10 年、20 年後のことも考えながら、若い人とローターとの関わりを作っていくかなければならないだろうと言っていました。単年度で 2、3 人に入会してもらおうというやり方では結果として組織としては誰も増えていないということになると思います。今後 3～5 年間で、例えば今の体制を 40 人にするのであれば、そのスパンの中で計画を作って展開していくことです。そのためには、みなさんに会員を増強しなければならぬという意識は持ってもらうなければなりません、100%全員がやれ

るものではありません。従って、3 年～5 年の計画の中で 5 名を増やすのであれば、その年度の理事会あるいは理事者が責任をもってそのうちの一人あるいは二人を確保することややっていかなければ、着実に会員を増やすことはできないと思います。こういった点についても、羽生会長エレクトと相談をしながら、次年度からはそういう体制で確実に最低でも一人は入れていくことを考えていかなければならないと思います。

千歳にはいろいろな企業の工場、子会社の責任者がきていますから、可能性のある人のピックアップもしながら進めていきたいと考えています。

田口会員：私たちのテーブルには素晴らしい方がいらっしゃるのですが、加藤晶啓会員からはすでに北海道ブルックスの支配人中川さんに声をかけていただいているということです。千歳にお住まいの方なので、脈があるのではないかと思います。札幌ゴルフ倶楽部由仁コース支配人の龍嶋さんにもアタックしていただいています。地主でもある方なんです、お住まいが由仁ということで微妙なところ。いずれにしても加藤会員はクラブが一つにまとまって何かやろうという考えをお持ちでした。金山会員は会社員という立場ですから非常に厳しい状況であるということでした。入口会員は地元の会議で常に勧誘をされているということでしたが、千歳にはロータークラブが 2 つ、ライオンズクラブも 2 つあって結局同じ人を皆が勧誘しているという現状だそう。松坂会員においては千歳セントラルロータークラブの活動を市民にもっと知ってもらうことから始まり、それが会員増強につながっていくのではないかとおっしゃっていました。世代交代の時期にもあるという話や入会していただく方は例会に出てくれる方がまず先決という話もできました。高塚直前会長のように会員推薦状を常に持ち歩くことが大事であり、加藤会員も所持しているということでした。先日土曜日に第 4・5 グループの IM に出席してきました。テーマが「職業奉仕とは」ということだったのですが、一言で話すのは非常に難しいテーマです。昨今、会員が減少している中で会員増強というのは非常に厳しいと話していました。地区の会議にでるといろいろなガバナーの方とお話する機会があるのですが、千歳セントラルはすごいですね、という第一声をいただき会員は今どうですか、と聞かれると現状は当初からみると減っていますと申し上げています。会員増強もちろん大事ですが、今は辞めないようにすることも大事ではないかと思います。皆が結束して会を盛り上げるということが大事だと思います。皆さんも職業奉仕とは何かと問われたら答えられる人は何人いるでしょうか。IM で聞いてきたことをまとめますと、職業奉仕とは、まず皆さんの生業のことで商売がよくなければ奉仕はできません。これが原則です。利益が出なければ会費を含め奉仕はできません。やはり会社がよくなければローターにできるよ

な状況にはなりません。このような状況の中で今後も非常に厳しくなると思われます。人を入れなければならない状況にはありますが、まずは辞めないように結束して行くことが大事なことではないかと思えます。

柏田会員：私たちのグループは人数が少なかったものから、あまりいい意見はきかれなかったのですが、常日頃から積極的に声をかけましょう、という意見ができました。そのなかでどれくらいロータークラブについて理解してもらえるのかというのが問題であるということでした。勧誘も誰でもいいというわけにはいかないと思います。高齢の方もいらっしゃるし、現在現役で働いている方はその会社のオーナーがどのように理解してくれるかということも非常に大事なことでないかと思えます。今、何人かの方には声をかけているのですが、なかなか良い返事をいただけないという状況です。現在厳しい経済状況のなかですんなり入っていただける方がどれくらいいるだろうというのが心配の種です。いずれにしても、声を積極的にかけて、1回といわず、2回3回と声をかけて一人でも入ってくれることを期待しています。田口会員も話されていたように、現在の会員を減らすことなく、増強していくことが大事だと思います。福田会員が新しく入会されたんですが、福田会員の会社のようにオーナーが理解のある方だといのですが、そうでない方もいらっしゃるのではと説得の技術が必要になってくると思えます。

ありがとうございました。

柏田会員の報告にもありましたが、やはり一番は説得力です。ただ話をして頼むのではなく、説得力がどれほどあるか、しつこさがどれほどあるかです。いろいろなところにチャンスはあると思います。私は常に会員推薦状を持っています。何かあったときに話をして意気投合したら、入会しないかという話になって仲間にいれてほしいということにもなるかもしれません。そうやって会員の輪が増えてくるのではないのでしょうか。そういったチャンスがまわってこない経営者や医師の方もおられます。これらの方はローターは何をしているのかと言います。ローターを知らしめるためには地域の社会にどう貢献しているか、ということ常々広報しなくてはなりません。広報していくことによってローターの存在が生まれてくると思います。

3 月末が羽生エレクトの成績評価になってまいります。10 月の会員増強については、今までずっと表彰を受けてきました。ここで表彰を受けられるように、みなさんが努力していかなければならないと思います。これを持続して行くことが大事です。みなさん一人ひとりが自覚をもって行動してもらいたいと思います。どうもありがとうございました。

SCHEDULE

3 月 29 日	通常例会「卓話 環境問題について/大古瀬千代様」[担当/エコプロジェクト実行委員会(須藤委員長)]
4 月 5 日	★通常夜間例会「卓話」[担当/佐々木幹事]
4 月 12 日	通常例会「ローター誌について」 [担当/プログラム・雑誌委員会(彦坂委員長)]
4 月 19 日	★親睦夜間例会「未定」[担当/親睦活動委員会(加藤正志委員長・手島副委員長)]
4 月 26 日	通常例会「次年度方針」[担当/羽生会長エレクト]
5 月 3 日	●休会 (みどりの日)
5 月 10 日	移動例会「ふれあい農園」[担当/ふれあい農園実行委員会]
5 月 17 日	★親睦夜間例会「未定」[担当/親睦活動委員会(加藤正志委員長・手島副委員長)]
5 月 24 日	移動例会「アイドリング・ストップ啓発活動」 [担当/エコプロジェクト実行委員会(須藤委員長)]
5 月 31 日	●休会 (月末)
6 月 7 日	★通常夜間例会「クラブ協議会」[担当/佐々木幹事]
6 月 14 日	通常例会「2010-2011 活動報告①」[担当/羽生会長エレクト、須藤副幹事、高塚直前会長、菊池会計]
6 月 21 日	通常例会「クラブ協議会」[担当/坂井会長、彦坂副会長、入口 20 周年実行委員長、佐々木幹事]
6 月 28 日	★親睦夜間例会「最終例会」[担当/佐々木幹事、親睦活動委員会(加藤正志委員長・手島副委員長)]